

交野市教委ニュース

第95号 (平成30年6月8日発行)

交野市小中一貫カリキュラム検討委員会&モデル学園の取組み

5月30日、第1回交野市小中一貫カリキュラム検討委員会が開催されました。昨年度3回開催した拡大交野市小中一貫教育モデル中学校区連絡協議会を発展させ、市全体のカリキュラム検討等を進めて行く場となるべく、各学校から小中一貫教育担当教員1名と各学園から代表の校長先生、教頭先生が参加しました。

モデル学園の実践発表 及び カリキュラム連結に向けてのグループワーク



交野が原学園から3名の先生が昨年度の実践を報告されました。

今年度、モデル学園以外の学園がカリキュラムの概要版を作成するにあたり、昨年度の取組みを踏まえた今年度の取組みの方向性を示していただきました。また、各学園からも多くの質問があり、今年度の取組みを進める上で参考になる有意義な時間を持つことができました。

後半は、各学園でグループワークを行いました。カリキュラム連結に向けて、各教科におけるカリキュラムマネジメントをテーマに9年間を見通したカリキュラムをどう整理するかを討議・発表しました。

次回は7月19日に京都産業大学の牛瀧教授をお招きし、算数・数学科における9年間を一貫したカリキュラムの指導内容の繋がりについて研修会を実施いたします。

交野が原学園（モデル学園）の取組みスタート



5月23日に、今年度早くも2回目のプロジェクト会議が行われました。昨年度に引き続きプロジェクトAでは人権教育、支援教育、キャリア教育、授業づくり、児童会・生徒会の活動と交流、生徒指導、道徳教育の7つに分かれ、具体的に9年間を繋ぐ話し合いがスタートしました。授業づくりのワーキングチームでは、他府県等の取組みをテレビモニターで共有し、比較した上で掲示物の扱い方等の話し合いが持たれました。

すでに4月18日には交野が原学園の全教職員が集まり、昨年度の振り返りを踏まえた今年度目標を共有し、「交流と連携で育む交野が原っ子」をスローガンにワーキングチームが始動しています。今年は先生方の取組みが子どもの学びに還元されるように教科のカリキュラム検討が進められています。11月28日に開催される市内全体への公開授業にて、その取組みの成果が発表される予定です。